

ビアパーク神戸

神戸市北区赤松台 2-1-1 近辺の方がうらやましい

ふちんかん

ここは2002年の夏に取材で訪れている。あのときは、暑さ真っ盛りである8月に、廃線跡のハイキングをして・ひなびた温泉に浸かって・美味しいもんを喰って・締めに来たてビールという、健康的なんだか即物的なんだか、まあ起承転結がはっきりしていて分かりやすい取材だったように思う。

PDFはこちら→ <http://briefcase.yahoo.co.jp/bc/fuchinkan/>ここから[OH!WOO!]-[2002年]-[09月号]
あれから三年、ビアパーク神戸の今をお伝えする。

1. すみませんビアパーク神戸ってどこですか？

前はハイキングの後だったので、JR の三田駅までは電車、そこから専用の缶型ラガーバスに乗り込み、ビアパークへ向かった。



今回は車での取材なので、もちろんバスは利用できない。自力で向かう必要がある。それなのに取材直前までビアパークに行く予定ではなかったの、しっかりと地図で確認していなかった。「なんとなくフラワータウンより左上の方角…」程度の認識だったので、エライことに。

人と自然の博物館のあるフラワータウンを北上し、ウッディタウンへ。なんとなくこの街の左の方、みたいな感覚で車を進めるが……見つからない。コンビニで道を尋ねて判明。

この町ではなく、元々いたフラワータウンの周辺だったのだ。とんだ無駄足……しかもフラワータウンの左上じゃなかったし。

2. ドライバーの方は？ え、えっと、この子です・・・

フラワータウンに戻り、車を5分も進めると、ビアパーク神戸に到着。広い駐車場に半分くらい車が埋まっていた。ビールに関して向学心に燃える家族・グループがこんなにいるなんて。

ご存じの通り、ビアパークはビールに関する知識や工場に対しての理解を深めてもらうための施設なので、入場料無料・駐車場無料・送迎無料・さらに試飲2杯におつまみまで付いてくるという、至れり尽くせりの素晴らしい施設なのだ。

しかしながら、社会道義的な規範も求められるのは当然なので、駐車場は用意するものの、未成年者とドライバーは試飲のビールを飲ませてもらえない。ソフトドリンクになってしまうのだ。朝一番に行って、「思いっきり運動して水飲んで、アルコールを完全に抜いてから帰りますから」って言ってもビールは飲ませてくれないだろう。

だから今回、一番のビール好きの私がドライバーというのは何という運命の悪戯なのだろう、神も仏も無いものか…って、それなら行くなよ。

受付のおねーさんの「お車でお越しですか？」と質問されたとき「い、いえ。歩いてきました」なんてウソは町はずれにある場所だけに無理がありすぎだし、「ドライバーの方はどちらですか？」の質問に「え、えっと、この子(SK くん)です」なんて受け狙いでしかない。すなおに申告しましたよ。はい、SK 君と同じソフトドリンクチケットを戴きましたよ。しかもソフトドリンクにもビールと同じおつまみが付くなんて、ちょっと嫌がらせ入ってませんか…はぁ僻みですかそうですか。



3. ちょっとな、ひとくち、ひとくち

エスカレーターで2階に上がる。縦長のフロア中央に蒸留釜が鎮座し、周囲にビアレストラン・売店、ホップや小麦の銘柄別展示があり、一番奥に試飲会場があるなど、3年前と配置も内容も変わっていない。

試飲会場でのビール選択は、ラガー・一番搾り・とれたてホップ一番搾りの3種だった。ただし、とれたてホップは人気のためか我々が行った時点では無かった。実はとれたてホップは期待していたので、ちょっと残念。

(っていうかドライバーなんだから…)

3年前は、ラガー・一番搾りに加えて神戸ビールだったから、銘柄の入れ替えは随時行われているらしい。



ホップもあいかわらずいい香り

まあ3年前と変わったところといえば、この銘柄入れ替え程度で、基本的には何も変わっていない模様。

ここにくれば毎日のようにタダビールが飲める。再入場も可能なら酔うまで飲めそうだ。これなら三田に居を構えるのもイかもって考える人も取材陣の中で一人や二人ではないはずだ (全員かよ!)

…ってこれも前回と同じ感想。



しかし、さすがにタダ酒めあての客は遠慮してほしいのか、この9月から送迎バスに関してはガイドツアー参加者・レストラン利用者などに限定されることに。

まあそれでもビアパーク神戸が太っ腹であることに違いはありません。(そしてビールの飲み過ぎは太っ腹一直線であることは言わずもがなであります。) これからもこの素晴らしい施設を維持していただきたい。できれば試飲を無制限にさせていただくと、なお有り難い。そうなれば周辺は全国からビール好き一家が集まってきて城下町のような賑わいとなりましょう。そしてこの町にビールの楽園が構築されることを願います。おわり